

# 手術部

## 1 構成員

	平成19年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	0人

## 2 教員の異動状況

白石 義人（助教授，部長）（2003. 07. 01～現職）

三条 芳光（助手）（1977. 12. 16～現職）

森田 耕司（助手）（1978. 04. 16～現職）

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成18年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	9編（3編）
そのインパクトファクターの合計	13.50
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	4編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	3編（3編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

#### A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- \* 森田耕司，鶴見智子，村松里香，飯田芳子，滝井利勝，大村守弘，白石義人，岳輝，住谷健二，磯健一郎：鋼製小物の炭素皮膜コーティングと耐久性について イザイ 1(3):72, 2007,

【医療工学】，[0]

2. 白石義人：緊急麻酔に欠かせないスキル。日臨麻会誌 27(2):101-8, 2007【麻酔科学】[ ]  
インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 柴田悠喜，渡邊進士，川上純一，三条芳光，白石義人，佐藤重仁：術中使用薬品の効率的な管理システムとその有用性Hospita 16(2):6-7, 2006【医療経営】[ ]
2. \*Kurita T., Morita K., Fukuda K., Uraoka M., Takata K., Sanjo Y., Sato S.:Influence of hypovolemia on the electroencephalographic effect of isoflurane in a swine model. Anesthesiology 102: 948-953, 2005.【麻酔蘇生学，臨床工学】，[4.005]
3. \*Doi M., Morita K., Mantzaridis H., Sato S., Kenny N.C.G.:Prediction of responses to various stimuli during sedation: a comparison of three EEG variables. Intensive Care Med 31:41-47, 2005.【麻酔蘇生学，臨床工学】，[3.727]
4. \*Igarashi H., Obata Y., Nakajima Y., Katoh T., Morita K., Sato S.:Syringe pump displacement alters line internal pressure and flow. Can. J. Anesth. 52:685-691, 2005.【麻酔蘇生学，臨床工学】，[1.764]
5. \*Kurita T., Morita K., Fukuda K., Uraoka M., Takata K., Sanjo Y., Sato S.: Influence of hemorrhagic shock and subsequent fluid resuscitation on the electroencephalographic effect of isoflurane in a swine model. Anesthesiology 103:1189-1194, 2005【麻酔蘇生学，臨床工学】，[4.005]

インパクトファクターの小計 [13.50]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

1. Jiang Y,\* Shiraishi Y., Aoki Y, Sato S : Rapid Decrease of Bronchial Cuff Pressure Indicates Slippage of the Bronchial Cuff. 日臨酔会誌 27(3):253-58, 2007【麻酔科学】[ ]
2. Mizuno K, Shiraishi Y., Kojima Y, Sato N, Sato S: Which Surgery Should Be Performed First for Lung Cancer with Internal Carotid Artery Occlusion? Anesthesia and Resuscitation 43 (2):41-42, 2007【麻酔科学】[ ]

インパクトファクターの小計 [0.00]

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司，鶴見智子，村松里香，飯田芳子，滝井利勝，大村守弘，白石義人，岳輝 他：鋼製小物にマーキングされた2次元シンボルの耐久性について 第35回日本医療福祉設備学会 2006. 11. 15-16, 東京都，第35回日本医療福祉設備学会予稿集 2006:73
2. 森田耕司，中島芳樹，五十嵐寛，佐藤重仁：危機的状況における麻酔管理（AMCS）セミナー，新教育制度におけるシミュレータ教育，新研修医制度における教育 日本医学シュミ

レーション学会講演抄録集（危機的状況における麻酔管理(AMCS)セミナー）2006:7-8

3. 森田耕司，中島芳樹，五十嵐寛，小楠敏代，佐藤重仁：浜松医科大学における医学シミュレーションの歩み-シミュレーションセンター開設をめざして 第1回日本医学シミュレーション学会総会抄録集 2005:12

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

1. 村松里香，鶴見智子，飯田芳子，森田耕司，白石義人 他：手術機器にマーキングされた2次元シンボルの耐久性について 第28回日本手術医学会総会，2006. 11. 1-2，大阪市，日本手術医学会誌 2006, 27(suppl):105,

#### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森田耕司，白石義人：ワンポイントアドバイス. 麻酔中のソーダライム交換時の注意点は？  
高崎眞弓，弓削孟文，稲田英一，岩崎 寛（編）麻酔科診療プラクティス19. 麻酔器・麻酔回路 文光堂，東京，169, 2006 【麻酔科学】
2. 白石義人：緊急麻酔に欠かせないスキルとは. 手術に欠かせない臨床麻酔のスキル-各科手術の麻酔に役立つ最新のワザと知恵-古賀義久 編，東京，真興交易医書出版部，2007:170-183 【麻酔科学】 [ ]
3. 森田耕司：プロポフォールのpharmacokinetics, pharmacodynamicsと臨床への応用: バランス麻酔：最近の進歩（改訂版），克誠堂出版，東京，p63-70, 2005，【薬効力学，薬物動態学】

#### (5) 症例報告

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

1. 内崎紗貴子，松井弦一郎，佐藤直史，中島芳樹，足立裕史，佐野秀樹，土井松幸，白石義人，佐藤重仁：麻酔導入時に心室細動を生じた真性多血症患者の緊急麻酔経験. 麻酔 55:1420-22, 2006 【麻酔科学】[ ]

インパクトファクターの小計 [0.00]

### 4 特許等の出願状況

	平成18年度
特許取得数（出願中含む）	0件

### 5 医学研究費取得状況

	平成18年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 ( 0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 ( 0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 ( 0万円)
(4) 財団助成金	0件 ( 0万円)

(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	2件
(2) シンポジウム発表数	2件	2件
(3) 学会座長回数	0件	1件
(4) 学会開催回数	3件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	7件
(6) 一般演題発表数	2件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 1) 国際学会・会議等の開催

1. Igarashi H, Suzuki A, Sanjo Y, Morita K, Sato S: The training of the automated anaesthesia record keeper with high fidelity human patient simulator for novice residents. Annual Meeting of the European Society of Anaesthesiology 2005, 5/28-31 Vienna, Austria
2. Association of PAI-1 polymorphism with perioperative fibrinolysis in cardiac surgery. アメリカ麻酔学会 2006年10月シカゴ
3. The effects of Sivelestat sodium on respiratory function after total aortic arch replacement. 韓国麻酔学会 2006年11月 ソウル

#### 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Katoh T, Shiraishi Y, Sato S: Effect of landiolol on hemodynamic changes during emergence and tracheal extubation after general anesthesia. Euroanaesthesia 2006 Annual Meeting European Society of Anaesthesiology 2006 2006. 06. 03-06 Madrid
2. Nakagawa C, Nakajima Y, Shiraishi Y, Sato S: The Effects of Sivelestat Sodium on Respiratory Function after Total Aortic Arch Replacement KSA Scientific Meeting 2006 2006. 11. 02-04 Seoul

#### 5) 一般発表

##### 口頭発表

1. ヨーロッパ麻酔学会 2006. 6. 3-6, マドリッド, スペイン
2. 第54回米国手術看護学会 2007. 3. 11-15, オランダ, アメリカ

### (2) 国内学会の開催・参加

#### 2) 学会における特別講演・招待講演

1. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 小楠敏代, 佐藤重仁: 危機的状況における麻酔管理 (AMCS) セミナー, 新教育制度におけるシミュレータ教育, 新研修医制度における教育,

平成17年6月2, 3, 4日, 日本麻酔科学会第52回学術集会, 日本医学シミュレーション学会共催, 神戸市,

2. 森田耕司, 中島芳樹, 五十嵐寛, 小楠敏代, 佐藤重仁: 浜松医科大学における医学シミュレーションの歩み-シミュレーションセンター開設をめざして, 第1回日本医学シミュレーション学会総会, 2005年11月18日, 大阪市

3) シンポジウム発表

1. 浜松医科大学附属病院における無痛分娩の取り組み 局所麻酔学会シンポジウム 2006年8月 大阪
2. 硬膜外無痛分娩が分娩経過に与える影響とその対策 硬膜外麻酔研究会シンポジウム 2007年2月 名古屋

4) 座長をした学会名

1. 森田耕司: 日本臨床麻酔学会第25回大会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

白石義人

1. 日本麻酔学会 代議員, 東海・北陸地方会代議員
2. 日本臨床麻酔学会 評議員
3. 日本ペインクリニック学会 評議員
4. 日本集中治療医学会 代議員

森田耕司

1. 日本麻酔・集中治療テクノロジー学会 評議員
2. 日本静脈麻酔インフュージョン研究会 評議員
3. 日本医学シミュレーション学会 評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成18年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成18年度
産学共同研究	0件